



将来の夢



題字執筆者紹介

天底小学校 6年

嶺井 海

▲みごとに咲きそろった今帰仁城跡の桜



むらの花・ハイビスカス

もくじ

- 一般質問と答弁 2 p
- 議決結果・賛否一覧表 11 p
- 現場踏査・編集後記 12 p

笑	行	で	た	う	た	顔	お	ん	師
顔	動	か	時	い	に	客	の	で	私
に	で	み	に	を	美	し	さ	好	す
さ	待	を	し	容	た	ん	き	。将	来
せ	っ	切	き	て	室	い	を	は	理
た	て	っ	れ	お	を	か	喜	か	由
い	り	て	い	客	き	ら	ば	お	は
か	る	す	は	さ	れ	で	せ	を	は
ら	人	ば	美	ん	い	す	て	切	お
で	達	や	容	か	に	。、	客	美	
も	を	い	空	来	そ	ま	突	て	さ
									容



12月定例会

会期日程(12月7日～14日)

8名が一般質問しました 12月8日～10日(通告順)

P3	與儀 常次	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 古宇利島観光拠点施設のテナント募集について ❷ 今帰仁村独自のコロナ対策について ❸ 集落道路、生活道路の整備について ❹ 村道中央線に植えているフクギの管理について
P4	與那 勝治	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 大井川の浚渫について ❷ 村有地について ❸ コロナ対策について
P5	嘉陽 崇	<ul style="list-style-type: none"> ❶ あいあいファーム(旧湧川小学校)の破産手続について ❷ 天底小学校通学路について
P6	與那嶺 透	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 県道248号線交通安全対策について ❷ 介護予防事業及び健康づくり事業について ❸ 村公共施設の防犯対策について
P7	座間味 邦昭	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 公共施設の総合管理計画に基づいた耐震基準前の施設の整備計画について
P8	山城 太	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 村営団地の浄化槽について ❷ 災害対策について ❸ 奨学金、入学準備金等支援金について ❹ 公用車の広告表示について
P9	上原 祐希	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 認定こども園の看護師配置について ❷ 広報について ❸ 農業振興について
P10	島袋 誠	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 持続可能な教育行政について ❷ 梯梧荘跡地ホテル建設進捗状況について

❶の数字は掲載された質問です。それ以外の質問は紙面の都合上割愛されています。本会議録については各字公民館に配布の予定です。詳しく調べたい方は、公民館もしくは議会事務局までお立ち寄りください。

問1 古宇利島観光拠点施設のテナント募集

募集の方法はどのようにするのか。また、区民・村民・村内外、どのような手法となるのか。

答 久田浩也村長

古宇利島ふれあい広場周辺において大型バス駐車場及びトイレ、飲食施設・特産品販売施設等を増設することにより、観光客の周遊・滞在・消費を促進し、地域の経済効果につなげることを目的とし、これまで古宇利島観光拠点施設整備を進めてきた。

現在、令和2年度事業内容について関係機関との事

前調整を行っている状況であり、計画する施設整備完了を目指し進めているところである。

募集方法については先進地などの事例も踏まえ調査・研究を行い、事業の目的が達成できるよう定めていく。

問2 今帰仁村独自のコロナ対策

村民全員への給付金、補助金は。

答 村長

村では、これまでコロナ禍による地域住民への支援策として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業を行ってきた。まず、村民全員への給付金、補助金については今

帰仁村新型コロナウイルス感染症家計支援対策」として、村民1人当たり5千円の給付を行った。

問 村内全世帯への物品配布は。

答 村長

村内全世帯を対象とした実施はないが、基礎疾患があり重症のリスクが高い方や生活保護受給世帯、後期高齢者を対象にマスクの配布を行っている。

また、「今帰仁村新型コロナウイルス対策支援事業」として、社会福祉協議会に委託する形で、生活困窮世帯に対し食料品等の配布を行っている。

問 母子・父子家庭へのサポート、対策は。

答 村長

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しての事業メニューはなく、母子・父子家庭に限定了した助成は行っていない。

問 飲食店等へのサポート、対策は。

答 村長

「今帰仁村農業者・事業者等経営早期再開支援金事業」として、村内個人事業主を対象に一定の要件のもと1世帯5万円の支援を行ったほか、村商工会が主体となり「今帰仁村商工業者応援プレミアム付商品券販売事業」を実施、また村内に主たる営業所を有する法人に対し1法人当たり5万円を支給する「今帰仁村法人事業主早期再建支援金事業」も開始をしている。

今後の支援体制については、コロナ禍の状況や国の第3次補正を見据え協議を重ねていく。

問 学校のオンライン授業は。

答 玉城奎教育長

現在国頭地区の各市町村と意見交換しながら使用するソフトの共通化を図るため、選定についての協議を

行っている。

問3 集落道路、生活道路の整備

事業計画から外れた、生活道路の整備は。

答 村長

平成30年度よりふるさと納税を活用して整備を行っている。今後ふるさと納税などで整備が行えるか検討をしていく。

問4 村道中央線に植えているフクギの管理

与那嶺区から今泊までのフクギの剪定計画は。

答 村長

フクギの管理については、以前に車道に出ている部分は建設課が剪定を行った経緯はあるが、その後は行われていない状況である。今後は状況を見ながら対応をしていく。



與儀 常次 議員





與那 勝治 議員

問1 大井川の浚渫

以前にも同様の質問をしたが、現在の進捗状況は。

答 村長

沖縄県土木建築部と北部市町村との行政懇談会において要望を行っている。県からは氾濫などの危険性を勘案しながら対応を検討していきたいとの回答があった。

問 台風の際に自主的に避難したという近隣住民から連絡もあり、どうにかしてほしいと切なる要望もある。現状を踏まえた今後の見解は。

答 建設課長

県に問合せたところ、令和2年度も予算を計上したが削られ、令和3年度も計上しているとの報告を受けた。今後も写真なりを用いて継続的に要望していく。

答 建設課長

できれば地域からの要望を添えて村のほうへ提出して頂けると力強い。

問2 村有地

これまでの数年間は一般競争入札により村有地が売却されてきたが、今後そのような売却が続くのか。

答 村長

普通財産の村有地の払下げについて、平成30年度の村有地売却事務要綱に則して一般競争入札を原則としている。

問 村有地を必要とするから役場へ相談に行く。入札にかけると高く売れるかもしれないが、どこの誰かわからない人を買われる可能性もある。こういう状況は良くないと思っている。積極的に売りたい場所があるのか。そこを公表しているのか。限られた村の財産をただ売ればいいということでもない。今後村有地をどうしていくのか。

答 企画財政課長

村有地が売却可能か、それとも村として今後必要なのかも加味しながら、売却がいいという条件が整えば

入札の形で処分することもあり得る。

問 一般競争入札だと外国から参加する可能性もある。金を持っている方だけが買占める可能性もある。できる限り売ってほしくないが、どうしても必要な方に対し以前のような随意契約としてほしいが方向性は。

答 村長

行政を運営していく上で、中長期的な視野に立って売却のあり方を考えていかなければいけない。関係各位と協議をし、立て直しを視野に入れながら考えていきたい。

問3 コロナ対策

終息の見えないコロナ禍において、国や地方自治体などの力が頼みの綱となっている。そこで本村が行ってきた事業や今後の対策を伺う。

答 村長

これまで感染防止対策や

経済支援策など様々な事業を行ってきた。今後も各種団体との協議を行い、協働のもとこの難局を乗り切りたい。

答 総務課長

Withコロナに関連して新たな生活様式のような形態の商談が出てくる。その辺、関連事業者と調整を図っていきたい。



問1 あいあいファーム
(旧湧川小学校)の
破産手続き
進捗状況を伺う。

進捗状況を伺う。

答 村長

進捗状況につきましては、令和元年10月30日付で破産申請が行われ、令和2年9月3日の第3回債権者説明会では、村を含む債権者への配当可能性は不明との説明であった。

また、学校跡地の村有地及び建物の明け渡し時期についても未定とのことであった。

問 村の今後の対応は。

答 企画財政課長



嘉陽 崇 議員

問2 天底小学校通路
正門前に横断歩道を設置してほしいという地域からの要望があるが、設置予定があるか伺う。

今後は破産管財人に代わって今帰仁村で明け渡しに向けての対応をしていく予定。

正門前に横断歩道を設置してほしいという地域からの要望があるが、設置予定があるか伺う。

答 教育長

令和2年12月に標識の設置、そして令和3年3月に横断歩道の線引きを行うと本部警察署より報告をうけている。

問 天底小学校へ誘導するための案内板を設置してほしいという地域からの要望があるが、設置予定があるか伺う。

答 教育長

設置に向けて調整している。

あるが、設置予定があるか伺う。



国道505号に設置されている案内標識

答 教育長

子供たちの登下校の安全・安心を第一に考え、設置に向けて調整をしっかりと行っていきたく考えている。

保護者や地域と連携して通路の安全点検を行っていきたく考えている。教育長と協議をして実施していきたい。

問 安全な通路の確保に向けて村長と教育長の考えを伺う。

答 村長

本村の交通安全推進協議会の会長を仰せつかっている身として、年度当初には



天底小学校正門前横断歩道

題字

募集

題字募集のサイズ
たて4cm×よこ17.8cm
ひらがな横書き

議会だより「なきじん」の題字を募集します。



今帰仁村内小学校のみならず、あなたの文字をお待ちしております。



お問い合わせは、今帰仁村議会事務局 (☎56-4397) まで

問1 県道248号線
交通安全対策

同路線の天底区内点滅信号十字路では、交通事故が後を絶たない状況だが、村として定周期式信号機設置の要請を粘り強く行っている考えはないか。

答 村長

平成30年4月に伊是名村長、伊平屋村長と三者連名で本部警察署及び公安委員会へ要請を行った。同地点では現在でも重大な車両事故が度々起きている状況であり、登下校の児童生徒や地域住民の安全確保の観点からも継続的に関係機関への要請を行っていく。

問 同地点にガードレールや

車止めのような歩行者や道路沿いの民家を守る防護柵を設置できないか。

答 建設課長

教員や県土木事務所、本部警察署、役場で組織する安全協議会があり年一回現場を見て確認している。タイミングを見ながら要請などをやっていきたい。



県道248号線

問2 介護予防事業および健康づくり事業

これまで様々な介護予防

事業や健康づくり事業に取り組み、要介護状態の予防や病気の重篤化予防に成果を上げていると思われるが、事業の検証を行っているか。

答 村長

対象者の事業参加率の向上や通いの場を増やすことを成果とし、年度ごとに事業の実施状況を確認、疾病予防や運動機能の維持、向上等に結びつける効果的な取り組みになるよう精査、見直しを行っている。

問 参加率の向上を目指す観点から、介護予防事業スタートからこれまでの推移を検証しているか。

答 福祉保健課長

介護予防事業スタート当初からの検証はできていないが直近に関して比較・検証している。

問 具体的な内容は。

答 福祉保健課長

65歳以上の対象者は約

3,000人。水中運動教室や貯金運動、ゆいまーる事業、その他高齢者の居場所事業等の事業を展開しており、参加者は、平成29年度から令和元年度にかけては若干の伸びがあったが事業参加率については約1%にとどまっている。

問 参加率を上げることが最終的な目標として事業を行っていくのか、それとも要介護者を増やさないために事業をやっていくのか、目標の違いがあつてはならないと思つている。私は最終的には元気なお年寄りを増やしていくことを目標にするべきだと思つたが、担当課の中で目標を掲げているのか。

答 福祉保健課長

目標設定についてはまず、現状分析から始まると思う。本年度から国保データベースシステムを活用し、健診、医療、介護の現状から重症化予防につながるための分析を行っている。本村の75歳以上の方は

1,500名近くいるが、医療機関を利用していただく方が95%、その中で重症化になりそうな方が約15%と医療介護予備軍をおおむね把握してきているので、今後の対策を行っていきたい。

問 保険者機能強化推進交付金を活用して新たな介護予防メニューを実施する考えは。

答 福祉保健課長

新型コロナウイルス感染症の影響で今年度計画していた事業の中断等もあり、新たな事業の実施は難しい。

問3 公共施設の防犯対策

村が所有する施設内において、落書きや酒盛り等が行われ、施設利用者や周辺住民から不安の声が寄せられているが、村としての見解は。

答 村長

施設ごとの立地条件や用途特性に応じた対策を講じなければならぬ。まずは確認を行って対策に取り組みたい。



與那嶺 透 議員



座間味 邦昭 議員

問1 耐震基準前の施設の整備計画

中央公民館をはじめ耐震基準前の施設の在り方に対して村の見解は。

答 企画財政課長

昭和56年以前の設計による旧耐震と表現される村の建物については37棟あり、その中には、中央公民館、今帰仁小学校の4棟、役場、葬斎場、今帰仁診療所、閉校閉園になった旧今帰仁中学校や旧湧川小中学校、保育所、幼稚園等が含まれている。

答 村長

今帰仁村公共施設総合管理計画は平成29年3月に策定され、公共施設等の長期的かつ基本的な方向性を示し、建て替えが必要な施設や取り壊すべき施設を、建築年度構造、利用度などから、総合的に勘案し方向性を定めていく。

問 耐震基準前の村の建物は何棟あるのか。主要な建物としてどういったものがあるのか。

答 企画財政課長

耐震基準と消防法の基準を満たしておらず、数年前から3月以降の更新はないと説明し、施設利用者には

了解を得ている。村立図書館も移転を予定している。

問 前回の一般質問で中央公民館のお話をさせて頂いたが、とても思い出深い施設で、その当時、象設計集団という設計事務所が設計し、集団主義、地域コミュニティという思想を込め、地域で公民館作り委員会を立ち上げ、時間をかけて作り上げられた貴重な施設であると聞いています。現在の公共施設は、利便性やコストを優先し作り上げていく時代の中で、地域の思いがたくさん込められた中央公民館は、文化的価値のある施設であり、今後も大切に保存活用していくべきであるが、利活用の計画が定まらなければ、いくら素晴らしい施設でも継続は難しいと思う。

そこで、村長の政策にクラウドファンディングや企業版ふるさと納税等を活用し、子どもたちの可能性を伸ばして行きたいと唱えており、村立図書館を中央公民館に移転し、地域の子ども

もたちが学び集い、地域の方々が集う図書館にし、また観光協会の事務所を置き、村外に情報を発信し、村民をはじめとした皆さんの方々が集う施設を作り上げていくという目的を明確にし、今こそ建物の再生資金をクラウドファンディング等の手段を活用し、村長の施策の第一弾として中央公民館の再生を提案したいが、村長の見解を伺う。

答 村長

中央公民館は、非常に歴史的、ある意味文化的に価値がある事を承知している。しかし、耐震問題等があり、改修や維持管理に非常にコストがかかるのも事実である。もし検討委員会で残すという結論が出た場合、目的を明確にし、クラウドファンディングという手段を活用したいと考えている。私の友人に一級建築士がおり、その方も『ぜひ残すべきだ』という強い言葉もあった。また、観光協会の事務所としても立地的に最高だと思っ

ている。

問 地域コミュニティが段々薄れていく中、村民が集う最高の場所や環境であり、また今帰仁村を発信する場所としても最適だと思っ

答 村長

中央公民館の価値は承知しており、子どもたちが集い、日曜日などをするとお年寄りも集う場所になり、また観光協会も非常に頑張っておられるのでその方たちの後押しにもなると思っ



象設計集団の設計による中央公民館（昭和50年竣工）



山城 太 議員

問1 村営団地浄化槽

浄化槽の管理は。

答 村長

今帰仁村営住宅の設置及び管理に関する条例において、入居者の費用負担義務が規定されており、各団地の自治会単位で管理を行っている。

答 総務課長

条例で定められているとおり、汚物及びごみ処理に要する費用については、入居者の費用負担義務というの

があり、それを行っているが、確かに各団地の状況を見ると、汲み取りはきちんとして、われていると思うが、年間の法定点検という部分では、やはり各団地の実施状況にばらつきがあるように感じる。この辺についても団地担当者からも各団地自治会に対して法定点検を行うように呼び掛け等を行っている。

問

条例に確かにあるが、村が管理したほうがやり易くないか。各団地に任せ、汲み取りだけ行っている状況が見受けられるがその辺どうお考えか。

答 総務課長

条例上入居者管理で定められているが、これは公営住宅に関する法律で謳われていたと思う。それを基に作った条例に沿ってやっているという事で、目的もあるかと思う。その辺も確認しながら管理状況をとれるのかも含め検討したい。

問

風によって団地地域周辺まで異臭がするという事があるか。

答 総務課長

団地の担当職員も含め全団地点検状況も確認しながら、各団地自治会長とも確認したい。

問2 災害対策

大規模災害における衛生面、飲料水の対策は。

答 村長

大規模災害が起こった場合に備えて、4,500ℓを目標に備蓄を進めており、現在1,200ℓを備蓄し

ている。災害時の衛生面については、広域避難所等における感染症の発生も想定し、消毒液の確保等を行っている。

問

数字の根拠は。

答 総務課長

整備点検計画があり、食料品の備蓄が本村の人口の20分の1日の3日分で、本村の人口を1万人と想定したときに、4,500食分の備蓄を目標とし、飲料水も給水計画の中で、1人当たり1日3ℓを必要量とし、食品と同様の考えから4,500ℓとなった。

問3 公用車の表示、広告表示

公用車の「今帰仁村」の表示、また企業等に有償で広告表示を募ってはどうか。

答 村長

表示について、車の形状や規格に応じて公用車であることを、誰もが認識しやすい様な表示に努めていきたいと考える。企業などの有償

での広告表示については、公用車と民間企業等の車両との明確な区分等という観点から、現在は検討していない。

問

認識しやすい表示に努めるとあったが、現在の表示は小さく、遠くから見ても分からない。一目見て公用車とわかれば、困っている方が助けを求め、相談し直ぐに対応も可能になると思う。車種や色・形状・大きさ等の確認も早急にしてもらいたいが。

答 総務課長

公用車自体各課で管理されているため全車点検確認したい。今後購入やリースする場合には大きく表示したい。

問

広告表示は諸々の要素で検討していないとあるが、表示の色や形状の変化等区別の工夫を行えば可能ではないか。

答 総務課長

内容によっては検討したい。



上原 祐希 議員

問1 認定こども園の看護師配置

医療的ケア児の支援拡充を国としても推し進める中、民間保育園では看護師配置が義務化されているが、公立保育園では努力義務とされ、本村では配置されていない。今後、専門職の配置に努めながら医療的ケア児の状況に応じた安全性を確保しながら、医療的ケアと保育の提供に取り組んでいきたいとの事だが、現状を伺う。

答 幼保連携推進室長

村内の在宅介護センターがあり、細かな協議をしているが、すぐ配置出来るという状況には至っていない。

問 現在、認定こども園には

医療的ケアを必要とするお子さんもいる中、保護者の努力で保育園での生活が行われている現状がある。そこを踏まえ、今後、仕事の状況的にどうしてもそれが出来ない家庭も出てくるのではないかと。ふるさと納税等、財源を確保し、是非看護師の配置が必要ではないか。

答 村長

医療的ケア児の対応、また、保育士確保も難しい保育行政をどう確立するかという観点から、看護師の保育士としての配置対象の認可や、村内医療機関からの派遣制度がとれないかなど、関係機関、関係課、財政も含めて検討していく。

問 民間保育園では看護師がいる事で、感染症予防の徹底、保護者への的確なアドバイス、毎月の保健だよりなど、保護者として安心安全で過ごせている事の安心材料になる。また、看護師が保育士として現場にも出ている。2022年度から県で中学生までの医療費助成を行う事から、その財源を看護師の確保に充てる事を前向きに取り組んで頂きたいが。

答 企画財政課長

医療に限らず様々な行政の需要があるのでその中で検討していく。

問 安心安全な子育て環境の整備のためにも、看護師配置をしっかりと考えていただきたいが、村長の見解を伺う。

答 村長

医療的ケア児を持つ保護者を含め、全ての保護者の皆さんの安心安全、保育ニーズに応えられるように、喫緊

の課題と捉え、担当課、関係機関と協議し取り組んでいく。

問2 広報

近隣市町村では、コロナ感染情報など、LINEアプリを活用し発信している。現在、月に一度の広報誌があるが、LINEアプリを活用することでタイムリーに情報発信できる。導入に前向きに取り組むとの事だが、村民周知を図るには広報誌へのQRコードを貼り付ける事で登録を促す事も出来るかと考えるが、見解を伺う。

答 総務課長

コロナ関連の感染状況や災害時、不審者情報など、リアルタイムで知らせる事が可能になると思う。QRコードでの周知も合わせて前向きに検討していく。

産地認定を受け、6つの産地協議会がある。産地協議会設置要綱の目的の中で「地域内の関係機関や生産者が一体となって園芸作物の地域形成に向けた生産技術計画生産、出荷体制の確立を図り、信頼できる産地ブランドの確立及び、生産農家経営の安定向上に寄与する事を目的とする。」という大変素晴らしい目的を達成するためにも、県立農大などの指導者OBを配置する事で組織の円滑化を図れないか。

答 経済課長

出荷団体と指導員との調整や講演会の開催など、客観的な見地からの指摘を含め、農家が自分の作物について考える機会を作っていく。

問3 農業振興

現在県から6品目の拠点





島袋 誠 議員

問1 持続可能な教育行政

今年度初旬から学校現場はコロナ禍の影響を受け、児童生徒そして教職員も普段とは違う生活を臨機応変に対応し、日々乗り切っている。その様な中、キャリア教育の必要性はさらに高まり、地域連携コーディネーターの役割は大きい。沖縄県下でも今帰仁村は、地域との連携において先進的な活動を行っている。今後も同様な事業が継続できるような体制を構築すべきと考えるが見解を伺う。

答 教育長

キャリア教育については学習指導要領にも明記され、本村においても教育行政の中核

に据えて各種取組を行っている。キャリア教育を充実させるために地域連携コーディネーターを配置し支援しており、今後も継続していく予定である。

問 地域連携コーディネーターは開始当時からコンサルは入れず2名の臨時職員を配置し、現在は1名の会計年度任用職員が担っている状態か伺う。

答 学校教育課長
現在は1名地域連携コーディネーターを会計年度任用職員として雇用している。

問 一括交付金や他メニューの予算がつかない場合、村単費での事業継続も想定しているか伺う。

答 学校教育課長
現在、村の教育行政の中核というところに据えてキャリア教育を行っているので、今後も継続してやっていく予定である。

ているか伺う。

答 学校教育課長

現在、村の教育行政の中核というところに据えてキャリア教育を行っているので、今後も継続してやっていく予定である。

問 現在1名の会計年度任用職員が担っているというところで、単年の契約更新が発生すると思われるが、もし更新しない場合、現在の事業内容がキープできるのか懸念されるが、その点を対策しているか伺う。

答 学校教育課長

ノウハウも蓄積されており、いろんな関係機関、村内の事業所、たくさんの人との関わりを持つる人材ですの継続してもらいたいと希望している。

答 教育長

コーディネーター個人の力も非常に大きいですが、教育行政としては、個人のノウハウをしつかり本村の教育実践とし

で蓄積することが大事だと考えるのでそのように取り組んでいきたい。

問 ぜひとも今やっていることをキープするなり、さらに高めたものを提供していただきたい。地域と教育委員会と、そして教職員と教育委員会との懸け橋的な役割も十分担っている。「人材をもって資源となす。」という言葉にも在るように、継続していくために違う形式でも模索していくべきと考えるが見解を伺う。

答 学校教育課長

他市町村では一会社に委託という方法をとっているケースもあるが、本村が目指しているキャリア教育を行っている上でどういう雇用形態がいいのか、どういう契約形態がいいのか、検討は必要と考える。

で行われた学習発表会で、地域と学校とが協同しての伝統芸能が発表されていたが、保護者、地域の方々から大変好評であった。そのつなぎ役として重要な役割を担っていたのも地域連携コーディネーターであった。最後に教育長に伺うが、今できていることを次世代に繋ぐこととして、「コミュニティスクール」の導入も本格的に視野にいれていただきたいが、見解を伺う。

答 教育長

本村もこれまでに何度か研修会を行ってきたが、まだ導入には至っていない。国頭地区では名護市が導入しているので、先行事例を研究していきながら本村に合ったものを検討していきたい。

問 教育委員会でもしっかりと考えていくということが今の説明でもしっかりと伝わった。11月末にある学校



現場踏査

◎現場踏査は村が発注した事業、及びその他の事業の進捗状況を直接現場に出かけて調査するもので、定例会の会期中に行われています。



古宇利小中学校跡地ホテル建設現場



古宇利島観光拠点施設



集団墓地(字湧川)

1月28日から2月12日までの間、役場各課の財務に関する事務の執行と経営に係る事業の管理が、適正に行われているかを主眼とした、定例監査が実施され、最終日には、監査委員による現場踏査が行われた。

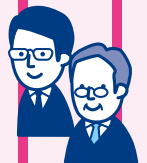
定例監査



今帰仁城跡城壁崩落現場



事業等に関し、各課から聞き取りを行う監査委員



令和3年3月定例会 会期予定:令和3年3月8日(月)~19日(金) 一般質問17日(水)~18日(木)予定

議会傍聴に関するお願い(新型コロナウイルス感染症対策)

いつも村議会に関心をお寄せいただき、ありがとうございます。議会の傍聴については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から以下の点について皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- ① 受付時に検温を行い、検温の結果、体温が37.5度以上の場合、また、咳や体調不良等の症状がある場合は、傍聴をご遠慮ください。
- ② 傍聴される前に手指の消毒、及びマスクの着用をお願いします。
- ③ 傍聴時には間隔をあけて着席してください。なお傍聴者数が多い場合、入場を制限させていただくことがあります。
- ④ 万が一議会内で感染者が発生した場合に備え、ご本人に速やかに連絡する必要があるため、傍聴の際にご記入いただく「傍聴受付票」に電話番号の記載をお願いします。

編集後記

◆コロナ禍の中、村内においても、いつも開催している行事やイベントが中止になり、曇り空のような生活の中、村内の生徒たちが明るい話題を提供した。◆今帰仁中学校駅伝部が第44回県中学校駅伝競走大会男子の部において、3年ぶり5度目の優勝(九州大会出場)、今帰仁中学校野球部が第24回県中学校新人大会で初優勝(九州大会出場予定)、そして北山高校駅伝部が第71回全国駅伝競走大会男子の部において、23年ぶりの30位台となる34位と健闘し、県内のみならず全国からも注目をあびる好成績を収めた。◆そして、今帰仁城跡の桜の開花は例年になく満開に咲き揃い、観覧者の目を楽しませている。桜まつりは残念ながら中止となったが、「コロナに負けるな」と桜の木からのエールとして受け取り、我々議会としても次世代につながるようしっかりとした対策を講じていきたい。

広報委員 島袋 誠